

治一郎 × 輪島塗



重ねて生まれる ふたつのものづくり

年輪を重ね、幸せを重ねていく治一郎のバウムクーヘンと、漆を幾重にも塗り重ね、長い年月受け継がれてきた輪島塗。

どちらにも共通するのは、
“時間を重ねることで生まれる価値” です。

職人の技と人の想いをていねいに積み重ね育まれる
ふたつのものづくりが出会いました。

この取り組みには、
輪島の文化を未来へつなぎ、
復興を応援したいという想いが込められています。

作品・作家のご紹介



櫛皿 黒

(けやしきさら くろ)

これまでにない流線形の造形に挑戦した作品。

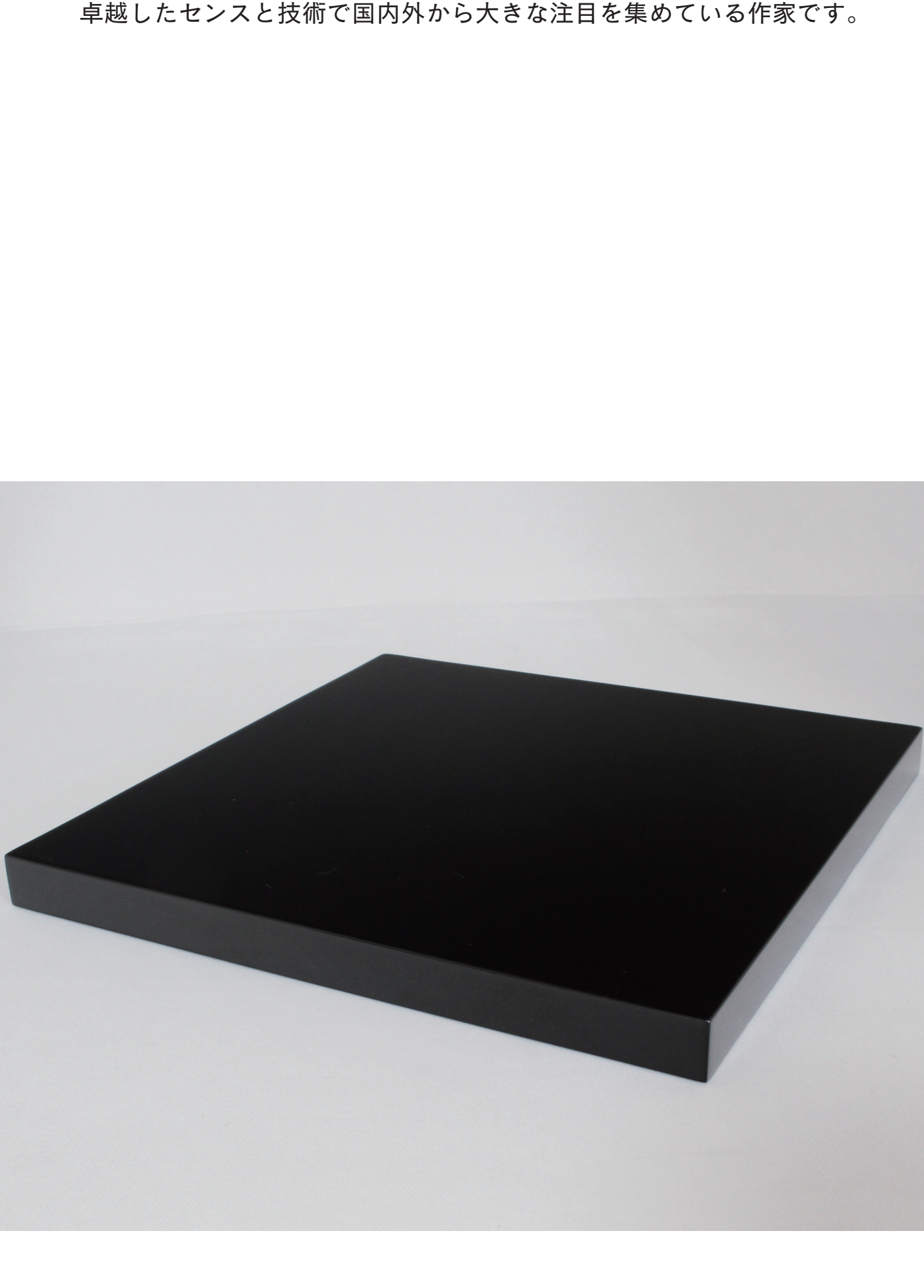
櫛をろくろ挽きで削りだした木地を用い、

中央をわずかに窪ませることで、

器全体に緊張感のある美しい曲面を生み出しました。

漆の面が光を受けて刻々と表情を変え、

その艶やかな存在感を存分に楽しむことができます。



漆盤 黒呂色 縁春秋文様

(うるしばん くろろいろ ふちしゅんじゅうもんよう)

一見すると端正な黒無地の漆盤ですが、

主役となる器や飾り物を引き立てるため、

縁には風合いの異なる黒漆で桜と紅葉をさりげなく散らしました。

桜と紅葉を組み合わせた意匠は古くから

「雲錦 (うんきん)」と呼ばれ、春と秋の美しい景色を

一つの図案に表した吉祥文様です。

控えめな表現でありながら、

上に載せた品に品格と奥行きを添えてくれます。



漆芸家 田中 義光

1971 年生まれ。石川県輪島市出身の蒔絵作家。

漆芸家・田中貴司氏、箱瀬淳一氏に師事。

その卓越した技術と表現力は高く評価され、日本伝統工芸展をはじめ

多くの展覧会でも受賞を重ねています。

2025 年には美術文化大賞を受賞し、同年、長年にわたる漆芸界への貢献により紫綬褒章を受章。

現在、現代漆芸を代表する蒔絵作家として、今なお意欲的な創作活動を続けています。

店舗のご紹介



治一郎 大平台本店

〒432-8068 静岡県浜松市中央区大平台 3 丁目 1 番 1 号

Tel. 053-485-4750

9:00 ~ 18:30 / 定休日：毎月第 3 火曜日

治一郎

